

# 入学前に（生活編）

小学校に入ると、以下のことができる力が必要になってきます。入学前の一日一日を親子で一緒に過ごしながらか、次のことができるかどうか確かめてみてください。

- 1 自分の名前、誕生日が言えるようにしておきましょう。
- 2 仲良しのお友達の名前が言えると良いです。
- 3 学校までの通学路（特に下校）を覚え、入学までに練習しておきましょう。
  - (1) 子供と一緒に通学路を歩き、子供の目の高さで安全を確認する。
  - (2) 信号のきまり、横断歩道の渡り方、危険な所を確認する。
  - (3) 不審者に出会ったときは、近くの店に入り、助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしたりさせる。（入学後、区より防犯ブザーを配布します。）
  - (4) 学校外で、自分の行動について家の人以外に注意された時でも、素直に話を聞くようにさせる。
- 4 話をしている人の顔を見て、静かに集中して話を聞くことができるようにしておきましょう。
- 5 意思表示がはっきりできるようにしておきましょう。
  - (1) 名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事ができる。
  - (2) 挨拶がきちんとできる。  
(おはようございます、いただきます、ごちそうさま、さようなら、ただいま、おやすみなさい など)
  - (3) 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。
  - (4) お手洗いに行くこと、体調が悪いことを伝えることができる。
- 6 身の回りのことを自分でできるようにしておきましょう。
  - (1) 1人で寝起きする。（十分な睡眠、早寝、早起き）
  - (2) 朝の洗顔、歯磨き、つめきり、髪をとかすなどができる。
  - (3) 食事のルールを身に付ける。（好き嫌いをしない。自分の食べる量を知る。果物のむき方。）
  - (4) 一人でトイレに行ける。トイレの使い方（和式トイレ・流し方）が分かる。
  - (5) 自分の持ち物が分かる。（記名をしっかりと）
  - (6) 自分で衣服の着脱ができる。自分の衣服がきれいにたためる。
  - (7) 持ち物の整理・整とんができる。
  - (8) 傘の開閉及び留め方、レインコートの着脱ができる。

☆子供の体の大きさに合った傘を持たせてください。



## 入学前に（学習編）

- 1 正しい鉛筆の持ち方をさせましょう。
  - ・何をするにも最初が肝心です。誤った鉛筆の持ち方が定着してしまうと、なかなか直すことができません。まずは、鉛筆を正しく持たせることから始めましょう。
- 2 書かせるよりも、読ませましょう。
  - ・ひらがなは、書けないよりは書けた方がよいですが、字形が整わない字が定着してしまうのは困ります。まずは、読めるようにしましょう。
- 3 自分の名前を、読んだり書いたりできるようにしておきましょう。
  - ・名前が書いてあるところに座ったり、荷物を入れたりすることがすぐ始まります。まだ字を覚えていなくても、自分の名前は読めるようにしておきましょう。ていねいに名前を書くことができると、さらによいです。
- 4 語彙力を付けさせましょう。
  - ・語彙力があるのとないのとでは、表現力に差がつきます。お話をたくさんしてあげたり、読み聞かせをしてあげたりして増やしていきましょう。
- 5 人前でできることは、何でもやらせてみましょう。
  - ・発言を恥ずかしがる子が増えています。人前で何かする機会があったら、すすんで挑戦させましょう。その際、失敗しても、ほめてあげることが大切です。
- 6 ぶら下がる運動をして握力や腕の力を付けましょう。
  - ・握力や腕の力が弱い子どもは、鉄棒運動で遅れが見られます。小さいうちに逆上がり等の経験をさせるためにも、外でいろいろな遊びをして握力や腕の力を付けましょう。
- 7 体をやわらかくしましょう。
  - ・小さいうちは体が柔らかいものですが、すでに開脚や前屈が十分にできない子がいます。どの運動にも柔軟性は求められ、けがも少なくなります。やわらかい体を維持できるよう、ご家庭で柔軟運動をするようにしましょう。

